

「交わりの中で、保育の原点を見つめる」

バプテスト保育連盟会長
田中 秀一

紫陽花の彩りが美しい季節となりました。新年度が始まって数か月、それぞれの園におかれましては、新しい子どもたちとの生活にも少しずつ歩みが整えられ、豊かな毎日を重ねておられることと思います。日々、子どもたち一人ひとりに寄り添い、祈りをもって保育にあたっておられる先生方のお働きに、心より感謝申し上げます。

さて、この夏、日本バプテスト保育連盟では、大切な学びと交わりの機会が備えられています。

まず、2026年7月30日～8月1日には、幼保連携型認定こども園和歌山ひかり幼稚園（和歌山バプテスト教会）を会場として、夏季研修会が開催されます。

夏季研修会は、知識や技術を学ぶだけの場ではありません。同じ使命を担う仲間たちと出会い、互いの悩みや喜びを分かち合いながら、キリスト教保育の原点を再確認する大切な機会です。

私たちは日々、子どもたちの小さな成長に心を動かされながら保育を行っています。しかし同時に、少子化や保育

者不足、社会の価値観の変化など、厳しい現実にも向き合
わなければなりません。そのような時代だからこそ、私た
ちが「なぜ保育をするのか」「何を大切に子どもたち
に向き合うのか」を、改めて主の御前に静かに問い直すこ
とが必要なのではないでしょうか。

キリスト教保育は、成果や効率だけを追い求めるものでは
ありません。一人ひとりの存在を大切に受け止め、「あ
なたはかけがえのない存在である」と伝え続ける歩みで
す。そのまなざしの中にこそ、神さまの愛が現されていく
のだと思います。

また、2026年8月6日～8日にかけては、西南学院
においてバプテストフェスティバルが開催されます。全国
から多くの方々が集うこの機会に、保育連盟としてもブー
ス出展を計画しております。

保育の現場には、子どもたちの笑顔、祈り、音楽、そし
て日々積み重ねられている愛の営みがあります。その尊い
働きを、多くの方々に知っていただき、未来の担い手たち
とも新たな出会いが与えられることを願っています。

この夏の研修会とフェスティバルが、参加されるすべての
の方々にとって、主から新たな力と励ましをいただく豊か
な時となりますよう、お祈り申し上げます。

日本バプテスト保育連盟の歴史

日本バプテスト保育連盟(通称:バ保連)は、日本バプテスト連盟発足直後第4回連盟年次総会(1950年)で結成が決議されました。

当初、幼稚園・保育園の開設や設備(ピアノ等)充実の補助等をフォーリミッショナート(American Board of Commissioners for Foreign Mission)から受ける為の仲介的な働きを行っていました。

その後、幼児教育充実発展に伴い学校法人化の課題等に関わり今日に至っています。

2026年度役員

- ・ 会 長：田中秀一 シオン山教会
(北九州市 愛の園保育園 園長)
- ・ 副会長：久保田信人 和歌山バプテスト教会
(和歌山市 和歌山ひかり幼稚園 副園長)
- ・ 役 員：中島美香 目白ヶ丘教会
(新宿区 目白ヶ丘幼稚園 園長)
- ・ 役 員：丸田恵美 久留米キリスト教会
(久留米市 付設めぐみのその幼稚園 園長)
- ・ 役 員：美園実保 伊集院教会
(日置市 伊集院幼稚園 園長)

ご支援を頂ければ幸いです

日本バプテスト保育連盟は、イエス様が大切にされた最も小さきこどものために働かれる保育者の研修や情報交換、情報提供のため、各園からの会費によって運営されています。我々の理念にご賛同いただき、運営に対する献金をお献げ頂ければ幸いです。

☆振込先・ゆうちょ銀行

記号：17470

番号：83555851

・他行から

店名：七四八(店番748)

普通：8355585

・名前：日本バプテスト保育連盟

(ニホンバプテストホイクレンメイ)

・祈りの課題

- ①日本バプテスト保育連盟の働きのために
 - ②教会の方々が保育現場へ導かれるために
 - ③教職員の主日礼拝参加と喜びのために
- 皆さまの祈りに加えて頂ければ幸いです。

お知らせ

・2026年7月30日(木)～8月1日(土)教職員研修会を、和歌山バプテスト教会で行います。

和歌山ひかり幼稚園では教育・保育を、児童発達支援事業所ひかり及び放課後等デイサービス事業所ひかりでは療育と一緒に体験しながら振り返り、また各園の困りごとを語り合う時を持ちます。

キリスト教保育の現場でご活躍中の先生方にとって、日々に活かせる貴重な機会となるよう内容を考えました。知識やスキルの向上はもちろんのこと、他園の先生方との交流を通じて、新たな視点やアイデアを得ていただければ幸いです。

皆様方の協力関係の中で、各施設におけるキリスト教保育が守られ、子どもたちが健やかな成長を重ねていく、その祈りの輪を広げていきたいと願います。

申込グループフォーム

QRコード→



園紹介 学校法人鹿児島めぐみ学園 幼保連携型認定こども園 めぐみ幼稚園

～神を畏れることは知識のはじめである。(箴言 1 章 7 節)～
～光の子として歩みなさい。(エフェソの信徒への手紙 5 章 8 節)～

めぐみ幼稚園は、1952(昭和 27)年 4 月、初代園長麦野七右衛門牧師により、**宗教法人日本バプテスト鹿児島基督教会附属幼稚園**として鹿児島市鴨池に創立されました。創立にあたり、上記の聖句を保育の根幹に掲げ、当初は牧師館や教会堂の一部を保育室として使用し、園長・主任・保育者の 3 名と、年少・年長の 2 クラス(園児 45 名)から歩みを始めました。

1961(昭和 36)年には、メドリング宣教師召天 40 周年を記念した「メドリング館(教育館)」が建てられ、子どもたちの保育室として用いられました。続く 1974(昭和 49)年には、めぐみ幼稚園園舎が建設され保育環境がさらに充実し、一時は園児が 160 名を超えた時代もありました。

しかしその後、近隣に幼稚園が開園したことや園児数減少の厳しい状況が重なり、閉園が危惧される時期もありました。2007(平成 19)年、教会の皆様の熱い祈りと支援を受けて**学校法人化が進められ、学校法人鹿児島めぐみ学園めぐみ幼稚園**として基盤が再整備されました。2014(平成 25)年 1 月には新園舎が完成し、2015(平成 27)年 4 月に**幼保連携型認定こども園**の認可を受け、現在は横割り 6 クラス、78 名の園児が集い、0 歳児から 5 歳児までが共に育つ園となっています。

敷地面積は 605 坪(1997 m²)、園舎は 216 坪(714 m²)で、鹿児島基督教会の敷地内にあります。園の前には鹿児島市電が通り、園庭からは電車が走る様子を眺めることができます。利便性の高い立地でありながら、正門から園に一步足を踏み入ると、シンボルであるセンダンの木が迎えてくれる静かな環境が広がっています。さらに、園庭には枇杷、紅葉、クロガネモチの木があり、3 羽のうさぎも私たちの大切な仲間です。

保育理念には「① キリスト教保育、② のびのび保育、③ 異年齢保育」の 3 本の柱を掲げています。

① **キリスト教保育**では、日々のクラス礼拝での聖句や讃美歌、食前のお祈りの子どもたちの声が園全体を包みます。週に一度の合同礼拝では、0 歳児から 5 歳児までの全園児が教会礼拝堂に集い、神さまのお話に耳を傾ける大切な時間を過ごします。子どもも職員も、主イエスさまから愛されていることが感じられる保育を大切にしています。

② **のびのび保育**では、子どもたちが「遊びきる力」を育み、自分で遊びを選び、主体的に遊び込む姿を大切にします。また、「やりたい気持ち」だけでなく「やりたくない気持ち」も尊重し、心がのびやかに育つ教育・保育を心がけています。

③ **異年齢保育**では、一人ひとりの個性を大切にしながら、年齢ごとの「横割り」と、異年齢が交わる「縦割り」を適切に組み合わせ、互いの成長を支え合う教育・保育を行っています。広い園庭では年齢の異なる友だちが手をつないだり、ダンゴムシを見つけたりしながら、共に過ごす時間を楽しんでいます。週に一度の「めぐみっこクラブ」では、全園児と一緒にダンスをしたり、異年齢のチームでゲームや競争をしたりしながら違いを認め合い、共に育ち合う経験を重ねています。

主の知恵に学び、光の子どもとして歩む保育を、これからも地域と共に丁寧に続けて参ります。

(めぐみ幼稚園 園長 高橋 陽子)

